

白岡市議会議員

渡辺そういちろう

市政通信 Vol.6



6月議会
定例会

どうなる？白岡の農業



白岡の農業の課題

— 岐路に立つ日本の農業。白岡でも今後の在り方を議論 —



- ・高齢化の進行
- ・後継者や担い手不足
- ・経済的な課題

- ・農業従事者の減少
- ・耕作放棄地の増加

渡辺そういちろうの一般質問

一般質問では議員が市に質問や政策提案を行います。

次世代を担うリーダー育成を！

渡辺 「農業の担い手への政策は？また持続可能な農業を実現するためには、地域農業のリーダーを育てていく取り組みが必要ではないか？」

市役所 「農地をまとめて担い手に貸し出す取り組みを行っている。また今後は農協など関係機関と連携し、次世代のリーダー育成を図っていく。」



渡辺 聡一郎 議員



若者や大学との連携は？

渡辺 「特産品開発（新商品開発事業）に若手農家や女子栄養大学との連携を図ってみてはどうか？大学連携の取り組みを活かすチャンスだと考える。」

市役所 「昨年からの市の農産物を利用した特産品開発を始めた。今後は若者や女子栄養大学との連携を図り、消費者ニーズを意識した特産品開発を行う。」

農産物を外に出していく政策は？

渡辺 「農協と連携した販路開拓などの政策は？都市近郊のメリットを活かし市独自で地域農業の競争力強化を図るべきではないか？」

市役所 「圏央道開通により工業・商業・農業など物資の輸送の利便性が格段に高まった。安心安全な農産物を迅速に供給できる地の利を活かしたい。」



農業は産業や食料だけでなく、自然環境や防災、食育など多面的な要素を持つ市民の共有財産。市民参加や大学連携で活性化の切り口を探しつつ、販路開拓なども積極的に進めてほしいと提言。



どうなる？白岡中学校周辺の土地開発

- 白岡中学校周辺の土地開発が検討されています。
- 大型商業施設や研究施設等の誘致が検討されています。
- 「土地利用を考える会」が設立されました。
- 今後の動きを注視し、お伝えしていきます。



Q A

Q 子育てや教育に関する政策はどうなっているの？

A 渡辺

- 子ども医療費の無料化の拡大（18歳まで無料）や図書館建設などが始まります。
- 新たに保育園が開設。しかし未だ待機児童は解消されていません。（その数18人以上）
- 子育て・教育を充実させることは、白岡に人を呼び込み、街の活性化にも繋がります。
- 他市よりも一歩進んだ子育て・教育環境を創るために重点的に提言していきます。



Q 駅前が寂しい、もっと活性化してほしい！

A 渡辺

- 本年度、白岡駅西口整備に予算がつけられ事業が進行中です。（用地買収の段階）
- 東口の白岡宮代線も事前工事が始まります。（駅前から東北自動車道をまたぐ道路）
- 根本的には財源が問題になります。足りない財源をどうするか、歳入をどう増やすか。
- 渡辺は圏央道を活かした経済政策や、市役所が稼ぐ政策を提案していきます。



活動記録

～本会議以外での活動の一部をご紹介～

市内の危険箇所を視察



総務委員会での活動



第2回劇場コンサートを開催！



【渡辺そういちろうPROFILE】

衆議院議員平沢勝栄の公設秘書として政治活動に参加後、2015年春より白岡市議会議員として活動。総務常任委員会所属。「渡辺そういちろう 白岡」にて是非ご検索ください！
090-7197-6173 <http://www.so-wat.net>

6月議会では農業について取り上げました。
白岡の自然を守っていくために、農業にも未来への視点が必要です。
To Be Continued...
その他市政やまちづくりについて、是非、お気軽にご質問・ご意見をお寄せください！

最後までお読みいただきありがとうございました！